

福島県での被災地支援ボランティア活動報告!

広島から被災地への支援を目的に、学生ができる支援を行う「広島から福島へ～学生による被災地支援～」は、広島国際大学チャレンジプロジェクトで採択され、ボランティア団体「SAS(被災地学生支援)」は、現在も積極的に活躍中です!

プロジェクトリーダーの清水悠矢さん(住環境デザイン学科2年次)らが各キャンパスからメンバーを募り、6名の学生が8月30日(金)～9月2日(月)の4日間、福島県で支援活動を行いました。被災地での活動は、今年4月に引き続き2回目です。

現地で開催された復興イベント、『1th福島アンダーグラウンドフェスティバル』では、参加した6名がワークショップとしてフラワーアレンジメントを企画・実施し、現地の方と楽しく交流しました。フラワーアレンジメントについては、事前に講師からレクチャーを受け、学生が現地で指導できる作品をみんなで考えました。

清水さんは、「ワークショップでは、被災者の方から多くのお話を聞くことができました。会話の中で私たちが考えさせられる部分もあり、これからの活動に大きくつながる訪問となりました。また、皆さんの笑顔がとても印象的でした。」と手応えを感じていました。

ワークショップでの活動の他に、現地で活動するNPO法人「相馬はらがま朝市クラブ」が行う朝市の手伝いや、依然として復興が進んでいない地域の見学を行いました。

今後も引き続き「学生ができる支援」を継続していく予定です。興味のある方は、ぜひご連絡ください。(SASメールアドレス)01st.art26@gmail.com

SAS(被災地学生支援)参加者

- 清水 悠矢さん(工学部 住環境デザイン学科 2年次)
- 高藤 拓也さん(医療福祉学部 医療福祉学科 2年次)
- 西谷 祥さん(医療福祉学部 医療福祉学科 2年次)
- 丸山 祐輔さん(医療経営学部 医療経営学科 3年次)
- 戸田 清香さん(心理科学部 臨床心理学科 2年次)
- 有福 祐奈さん(保健医療学部 医療技術学科 1年次)



「夕涼み会」で地域交流

7月19日(金)、広島キャンパスにて「夕涼み会」を開催しました。これは医療経営学部の学生が地域と交流し、多くの地域の方に、広島国際大学を知ってもらうことを目的として毎年開催しているイベントです。

当日は、子どもから大人まで約300名の地域の方が、スーパーボールすくいや、射的、カキ氷などで楽しみました。地域の方からは、「子どもの頃を思い出して、懐かしい。」「初めて大学に来ましたが、すごく楽しい。子どもも喜んでます。」などの意見もあり、地域の方々と学生がお互いに楽しめるイベントになりました。



「救急法講習 in 安芸太田町」プロジェクト実施!!

8月8日(木)、医療経営学部の1年次から3年次の学生16名が、安芸太田町で行われた大自然体験イベントの中で、参加した子どもたちを対象に救急法講習を行いました!

当日は、約120名の小学生が参加し、グループに分かれて、救急法演習のほか、郷土料理体験、地域探索、竹細工を行いました。学生は、救急法演習をメインに、郷土料理体験の手伝いなどで地域交流をしました。

人工呼吸など、初めて行う小学生がほとんどで、参加した本学生は、「普段学んでいる命に関わる大切な技術を教えることができた。」「多くの小学生、地域の方と楽しく接することができ、とても有意義な時間となりました。」と感想を語っていました。



幟町学区子ども会主催「幟へきん祭」に医療経営学部の学生が参加

8月17日(土)、幟町小学校で幟町学区子ども会主催の「幟へきん祭」が開催され、医療経営学部の学生たちは、事前準備、打合せの他、当日には、ミニホットケーキボール、綿菓子、バルーンアート体験の模擬店を設置しました。また、「熱中症対策の掲示コーナー」も設け、多くの小学生、保護者の方に楽しんでいただきました。

幟町地区での夏祭りは実に38年ぶり。「小学生と地域の方が、互い顔見知りになって児童の安全を高めるため、住民も交えた祭りを行いたい。」という子ども会の意向に賛同し、本学の学生が企画・運営に携わりました。

当日は、約700名の地域の方が来場されました。特に綿菓子が大人気で、常に行列ができており、担当する学生は、大奮闘していました。



日本文化に親しむ! 呉キャンパスで和菓子作りを体験!

10月4日(金)、呉上田宗箇流茶道部が呉キャンパス食堂において、和菓子作り体験会を開催しました。これは、学生・教職員に対して、和菓子に興味を持ってもらおうと昨年度に続いて開催したもので、50人以上の参加がありました。呉市中通にある御菓子処「蜜屋」の若



手職人2人をお招きし、まず基本的な和菓子作りの説明を受けた後、参加者は職人から指導を受けながら実際に和菓子作りを体験しました。参加した学生たちは、出来上がった和菓子を茶道部のたてたお抹茶と一緒に美味しく食べていました。

和菓子作りに参加した学生たちは、「以前から和菓子作りに興味を持っていました。始めは、餡を包んで形を整えるだけと簡単に考えていましたが、実際にやってみると思うような形ができず、難しかったです。先生の作られた和菓子はとても美しいものでした。こういった日本文化を体験できる機会は貴重で、機会があれば、また参加したいです。」と、笑顔で話していました。

